

●間伐植樹等による森林整備事業



▲倒す方向を見定め、チェーンソーで切り込みを入れるプロの技

市の補助金対象事業である森林整備を、天神谷津と中沢城址で行いました。強風で倒れたり、枯れたり、病気に罹ったりして用材として価値のない杉などを伐採し、そのあとにコナラやヤマザクラなどの落葉樹を、合計30本植えました。大木がプロの手により、轟音を立てて次々と手際よく伐り倒されていく様子は、壮観でした。落葉樹の苗木が成長し、鮮やかな新緑や、味わい深い紅葉を見られる日が、今から楽しみです。伐り倒した樹木の片付けがまだまだ残っていますので、作業への参加をお願いいたします。



▲女性も楽しく、作業に参加！

●「窒素勉強会」ピエゾメーター設置と水質調査の方法を学ぶ



▲湧水の出る場所に塩ビ管を埋設する実習

11月4日、窒素勉強会の皆様のご指導のもと、天神谷津で水質調査などを行いました。この半月ほど前の現状確認と打合せを経ての、第一回目の実地調査でした。作業前に、水質調査用の機器「パケット」を2組寄付して頂きました(写真右下)。その後、近藤先生(千葉大学教授)から説明を受け、いざ現地へ…。地下水の動きを知るためのピエゾメーターと呼ばれる塩ビ管を、3ヶ所に設置。又、湧水や水路の水を、12ヶ所で採取しました。その後、場所を移して、「窒素濃度」などを測定。その結果は、湧き出した水が谷津を下るにつれて浄化されて行くことが、はっきりと示されていました。



●はじめてのザリガニ釣り 第一小1年生22人



学校の依頼でザリガニ釣りを企画。曇り空の10月7日、元気な一年生が天神谷津を訪れました。私達が用意した釣り竿を渡すと、一目散に池に走り、釣り上げるたびに歓声が上がっていました。なかなか釣れない子もいましたが、大人にコツを教わって見事全員が釣り上げ、教室に持ち帰りました。そのザリガニを写生した後、家で飼うとの事でした。



●自然観察会&昔あそびを体験 第一小3年生20人と再会

天気に恵まれた11月5日、6月の自然観察会で知り合った3年生20人と再会。5か月ぶりに会った子供達の成長には驚きました。久しぶりのフィールドに、子供達は歓声を上げながら谷津に吸い込まれて行きました。秋も深まり、



▲虫を捕まえて観察する子供達

昆虫達の姿は少なかったのですが、私達の用意した手引き「里やまの生きものたち」を片手に、熱心に昆虫や植物を探していました。学校と天神谷津を往復する間も子供達との会話がはずみます。校庭では昔あそびが待ち受けていました。私達の手製の竹ポックリや竹トンボ、パチンコ、アルコール舟に初挑戦する子供達。ガイド役の大人達が、何故か子供達以上に夢中でした。



▲どんぐりを弾にしたパチンコに人気集中

●感謝のお米パーティー 第一小5年生からの招待



▲子供達36人による合唱、「歌よ ありがとう」が教室一杯に響き渡る

1月16日、昨年の稲作体験学習の関係者に感謝の気持ちを表そうと、子供達自身が発案・企画・実施した「感謝のお米パーティー」に招かれました。収穫したお米でつくったおにぎり、温かい味噌汁をふるまわれたのち、素晴らしい歌の披露。子供達が用意したクイズに挑戦し、私達も「もの知り米米クイズ」で応戦。最後に、私達一人ひとりに「感謝の手紙」が手渡されました。この日のために、一所懸命準備してくれた子供達の気持ちを思い、感激してしまいました。このようなことも、稲作体験学習がもたらした成果のひとつではないかと考えます。



▲収穫米でつくったおにぎり

●春の自然観察会 開催予告！

富里市と協働で開催します。詳しくは3月の「広報とみさと」でお知らせします。

- ◆テーマ:「知ってほしい富里の自然…春の谷津田を巡る」
- ◆日程:4月中旬
- ◆会場:立沢地区「天神谷津」など



第7回通常総会のお知らせ

下記のとおり開催致しますので、是非ともご出席下さい。

- 日時…平成26年2月15日(土)午後1時30分より
 - 会場…中沢区集会場(富里市中沢、向台幼稚園となり)
 - 議事…事業報告、収支決算報告、事業計画、収支予算計画、役員選出等
- *総会後のイベントとして、**手作りのお菓子を食べながら、スライドショー「天神谷津の虫たち」**などを予定しています。



オオカマキリ

真冬の里やまは、木々の葉も落ち、生き物たちを見つけるのが難しい季節です。それでも立枯れた葎やセイタカアワダチソウなどに、オオカマキリの卵を見つけ出すことができます。正式には卵鞘(らんしょう)と言い、この中に200~300個の卵が入っています。泡のかたまりのように見えますが、弾力があって少々固めのスポンジのようです。外からの圧力や衝撃に強く、中の卵たちを保護しています。それにたくさんの空気を含んでいるため、断熱効果もあり、冬の寒さにも耐えられる構造になっています。この優れた性能を持つ卵鞘に守られ、じっと春を待つオオカマキリの卵たち。春の花々が咲く頃、たくさんの小さな幼生たちが誕生します。肉食で猛猛なイメージのあるオオカマキリですが、春の陽光に輝く幼生たちは、か弱く、愛らしくもあります。(文:山崎 卓)



卵鞘



幼生

会員紹介

よしおか ひでき
吉岡 秀樹さん (67才)



隣の成田市の住人です。生まれも育ちも成田です。私はずっと理科教育に関わってきましたが、現在、子どもたちの自然離れに大きな危惧を抱いています。縁があってこの会に所属させてもらっていますが、ホタル観察会や講演会に参加させていただく活動で手一杯です。精力的に里山保全に奮闘されている皆さん方には、頭が下がる思いです。住まいは農村地域にありますが、子どもたちを田んぼで見かけることがありません。夢は地元でホタルの生息地をとりもどし、子どもたちを野外に「連れ出す」ことです。この間、自宅周辺で調べてみると、ヘイケボタルの生息地を何力所か確認できました。天神谷津で見た、あの息をのむような素晴らしい光景には遠く及びませんが、この会での学びを生かせるように努力してみようと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。

会員募集

★ ホームページ NPO 富里のホタル へのアクセスお待ちしています!! ★

<http://www4.ocn.ne.jp/~okgo/>

NPO 富里のホタルは、中央公園や谷津田で、ホタルの発生を指標とした自然保護活動を行っています。

活動に関心のある方は、お気軽にお問い合わせ下さい。(年会費:2000円)

【連絡先】NPO 法人 NPO 富里のホタル 理事長 草野孝江 ☎ 090-3499-9161

現在の会員数: 0166

事務局メールアドレス okamoton@themis.ocn.ne.jp